

平成26年7～9月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断DI

① 今期の業況判断

今期（平成26年7～9月期）の業況判断DIは(-)65.3で、前期（平成26年4～6月期）(-62.0)に比べ、3.3ポイントの悪化。

② 来期の見通し

来期（平成26年10～12月期）の業況見通しDIは(-)60.4で、今期の業況判断(-65.3)に比べ、4.9ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断DIの推移 一調査産業計一

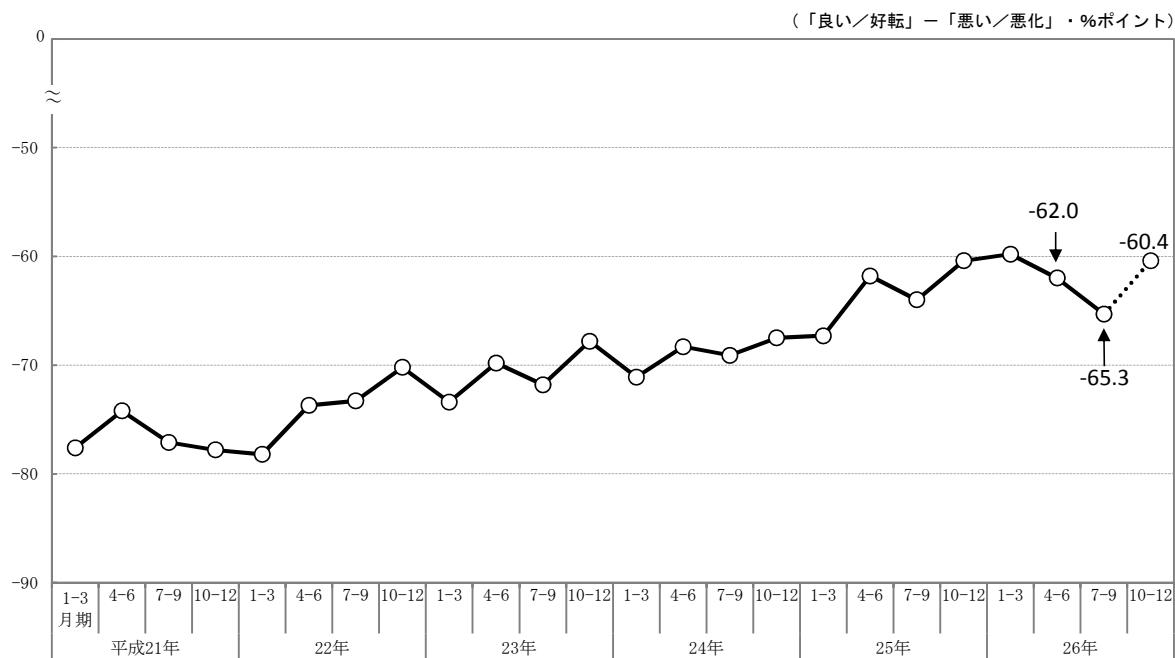


表1 業況判断の割合 一調査産業計一

	平成25年		26年			
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期 見通し
今期の業況、来期の業況 (%)						
良い／好転	3.0	4.1	4.3	3.7	2.9	2.2
普通／不变	30.0	31.4	31.6	30.6	28.9	35.2
悪い／悪化	67.0	64.5	64.1	65.7	68.2	62.6
D I	-64.0	-60.4	-59.8	-62.0	-65.3	-60.4

参考	日銀短観(大企業全産業計)	13	18	21	16	13	14
	中小企業景況調査(全産業計)	-29.0	-25.0	-24.7	-27.6	-28.3	-15.6

(注) 「中小企業景況調査」：(独) 中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成26年10月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、

- 「製造業」は 231万4000円で、前年同期に比べ、9.2% の増加
- 「卸売業、小売業」は 414万6000円で、前年同期に比べ、4.5% の増加
- 「宿泊業、飲食サービス業」は 216万8000円で、前年同期に比べ、0.5% の増加
- 「サービス業」は 123万円で、前年同期に比べ、3.5% の減少

② 今期の1事業所当たりの営業利益は、

- 「製造業」は 62万6000円で、前年同期に比べ、3.8% の減少
- 「卸売業、小売業」は 37万円で、前年同期に比べ、17.0% の減少
- 「宿泊業、飲食サービス業」は 42万円で、前年同期に比べ、3.0% の減少
- 「サービス業」は 43万3000円で、前年同期に比べ、0.9% の減少

※前年同期(平成25年7~9月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

(1事業所当たり)

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
実数 (千円)	平成24年 7~9月期	2,332	612	4,201	433	2,164	354	1,171	416
	10~12月期	2,682	765	4,431	435	2,189	390	1,291	463
	平成25年 1~3月期	2,086	563	3,948	368	2,058	383	1,232	427
	4~6月期	2,183	630	3,932	398	2,087	424	1,405	522
	7~9月期	2,119	651	3,969	446	2,158	433	1,274	437
	10~12月期	2,474	676	4,376	441	2,249	406	1,274	448
	平成26年 1~3月期	2,293	654	4,007	463	2,018	341	1,102	352
前年同期比 (%)	4~6月期	2,131	613	3,981	431	2,154	402	1,210	456
	7~9月期	2,314	626	4,146	370	2,168	420	1,230	433
	平成24年 7~9月期	10.6	-0.5	-3.2	-8.5	-1.3	-20.6	-6.2	-9.2
	10~12月期	13.5	13.5	-1.0	-2.7	3.6	-2.5	-0.8	-8.3
	平成25年 1~3月期	-16.1	-11.1	-0.2	-4.4	4.8	5.5	11.8	7.8
	4~6月期	-12.5	4.0	-8.1	-4.1	0.0	21.8	16.7	16.8
	7~9月期	-9.1	6.4	-5.5	3.0	-0.3	22.3	8.8	5.0
平成26年	10~12月期	-7.8	-11.6	-1.2	1.4	2.7	4.1	-1.3	-3.2
	1~3月期	9.9	16.2	1.5	25.8	-1.9	-11.0	-10.6	-17.6
	4~6月期	-2.4	-2.7	1.2	8.3	3.2	-5.2	-13.9	-12.6
	7~9月期	9.2	-3.8	4.5	-17.0	0.5	-3.0	-3.5	-0.9

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、

- 「製造業」は 10万4000円で、前年同期(13万9000円)に比べ、減少
- 「卸売業、小売業」は 8万5000円で、前年同期(8万1000円)に比べ、増加
- 「宿泊業、飲食サービス業」は 7万7000円で、前年同期(7万8000円)に比べ、減少
- 「サービス業」は 4万円で、前年同期(4万5000円)に比べ、減少

② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、

- 「製造業」は 4.5%で、前年同期(6.6%)に比べ、2.1ポイントの低下
- 「卸売業、小売業」は 2.1%で、前年同期(2.0%)に比べ、0.1ポイントの上昇
- 「宿泊業、飲食サービス業」は 3.6%で、前年同期(3.6%)と同率
- 「サービス業」は 3.3%で、前年同期(3.5%)に比べ、0.2ポイントの低下

※前年同期(平成25年7~9月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

(1事業所当たり)

	製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成24年 7~9月期	100	4.3	71	1.7	115	5.3	91	7.8
	131	4.9	60	1.4	64	2.9	74	5.7
平成25年 1~3月期	65	3.1	100	2.5	64	3.1	125	10.1
	56	2.6	118	3.0	59	2.8	63	4.5
平成26年 7~9月期	139	6.6	81	2.0	78	3.6	45	3.5
	122	4.9	89	2.0	89	4.0	44	3.5
平成26年 1~3月期	116	5.1	83	2.1	87	4.3	73	6.6
	85	4.0	68	1.7	45	2.1	75	6.2
	104	4.5	85	2.1	77	3.6	40	3.3

II 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成26年7～9月期）の業況判断DIは（-65.3）で、前期（平成26年4～6月期）（-62.0）に比べ、3.3ポイント悪化した。

イ 前期と比較した業況判断DIは（-51.8）で、前期（-45.7）に比べ、6.1ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成25年7～9月期）と比較した業況判断DIは（-55.3）で、前期（-51.9）に比べ、3.4ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年10～12月期）の業況見通しDIは（-60.4）で、今期の業況判断（-65.3）に比べ、4.9ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断DIの推移－調査産業計－

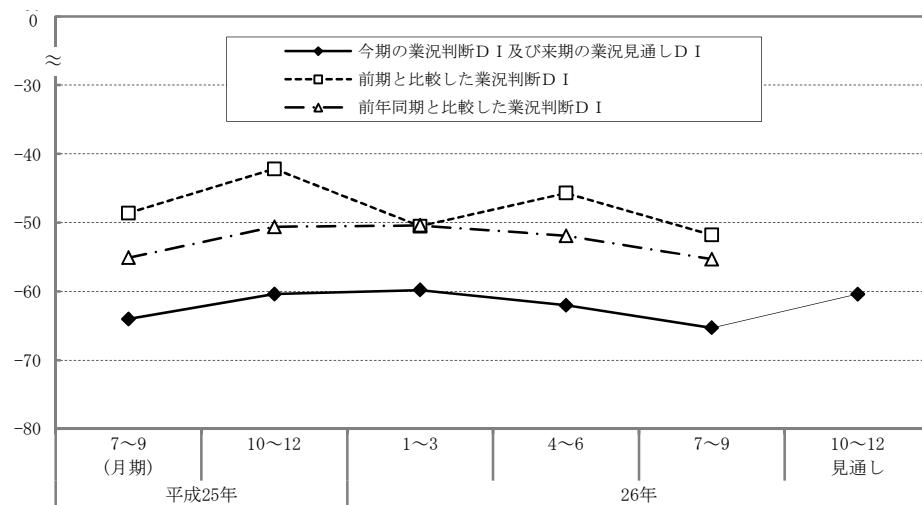
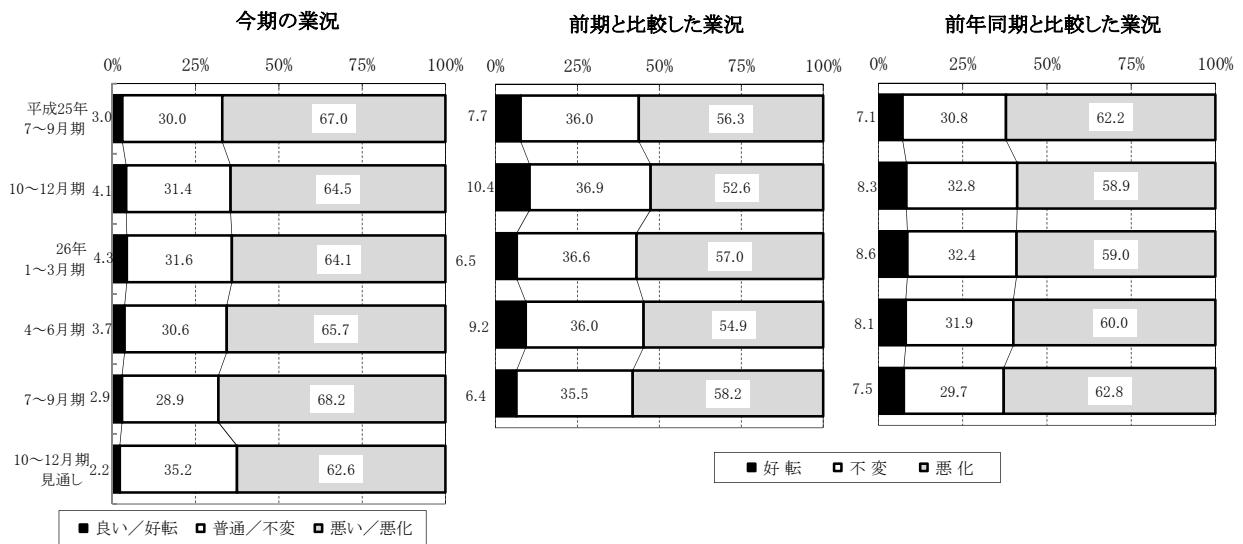


図3 業況判断の割合－調査産業計－



(2) 売上の状況

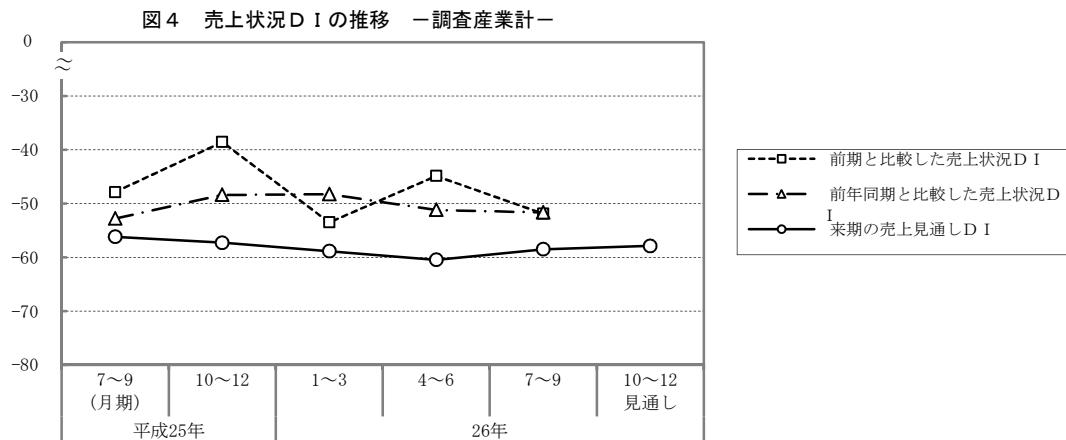
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況D Iは(-)51.9で、前期(-44.9)に比べ、7.0ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況D Iは(-)51.7で、前期(-51.2)に比べ、0.5ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しD Iは(-)57.9で、前期における今期の売上見通し(-58.5)に比べ、0.6ポイントの改善の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

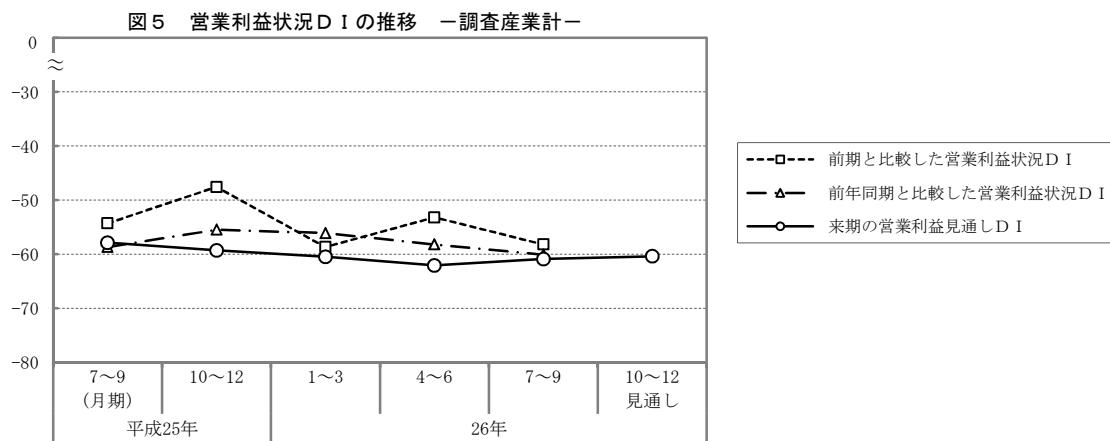
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況D Iは(-)58.2で、前期(-53.2)に比べ、5.0ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況D Iは(-)60.1で、前期(-58.2)に比べ、1.9ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

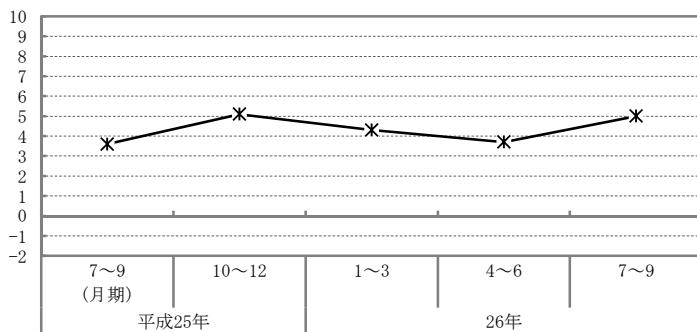
来期の営業利益見通しD Iは(-)60.4で、前期における今期の営業利益見通し(-60.9)に比べ、0.5ポイントの改善の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況D Iは(+5.0)で、前期(+3.7)に比べ、1.3ポイント「過剰」が拡大した。

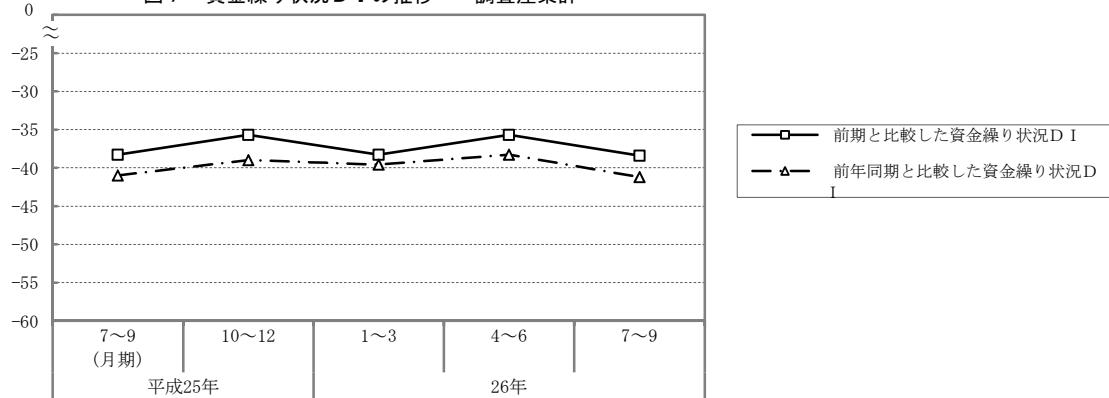
図6 製品・商品・原材料の在庫状況D Iの推移 一調査産業計一



(5) 資金繰りの状況

- ア 前期と比較した資金繰り状況D Iは(-38.4)で、前期(-35.7)に比べ、2.7ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した資金繰り状況D Iは(-41.2)で、前期(-38.3)に比べ、2.9ポイント悪化した。

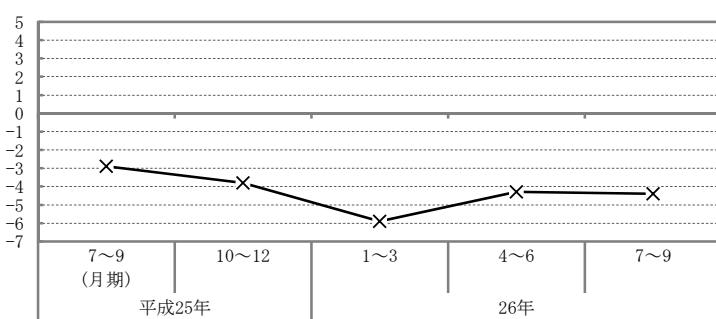
図7 資金繰り状況D Iの推移 一調査産業計一



(6) 雇用状況

今期の雇用状況D Iは(-4.4)で、前期(-4.3)に比べ、0.1ポイント「不足」が拡大した。

図8 雇用状況D Iの推移 一調査産業計一



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成26年7～9月期）の業況判断DIは（-）51.7で、前期（平成26年4～6月期）（-47.4）に比べ、4.3ポイント悪化した。

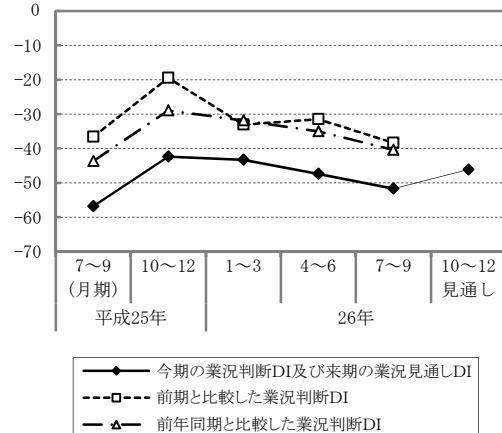
イ 前期と比較した業況判断DIは（-）38.4で、前期（-31.5）に比べ、6.9ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成25年7～9月期）と比較した業況判断DIは（-）40.4で、前期（-35.0）に比べ、5.4ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年10～12月期）の業況見通しDIは（-）46.1で、今期の業況判断（-51.7）に比べ、5.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

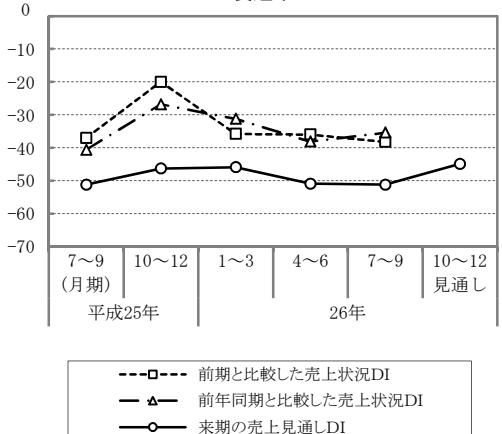
ア 前期と比較した売上状況DIは（-）38.2で、前期（-36.0）に比べ、2.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは（-）35.4で、前期（-38.1）に比べ、2.7ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは（-）44.9で、前期における今期の売上見通し（-51.2）に比べ、6.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

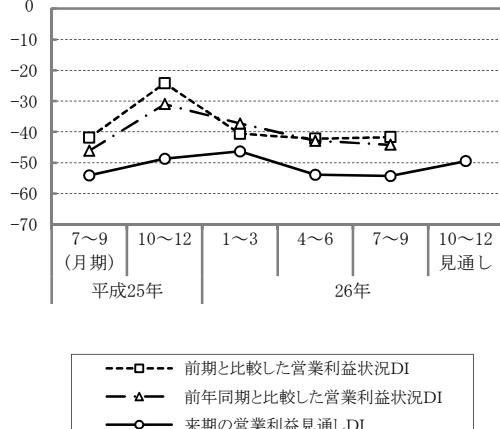
ア 前期と比較した営業利益状況DIは（-）41.7で、前期（-42.2）に比べ、0.5ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは（-）44.2で、前期（-42.9）に比べ、1.3ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは（-）49.5で、前期における今期の営業利益見通し（-54.3）に比べ、4.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+3.3)で、前期(+2.8)に比べ、0.5ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-29.9)で、前期(-28.7)に比べ、1.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-34.5)で、前期(-31.3)に比べ、3.2ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-3.1)で、前期(-2.7)に比べ、0.4ポイント「不足」が拡大した。

図12 製品・商品・原材料の在庫
状況DIの推移 一製造業一

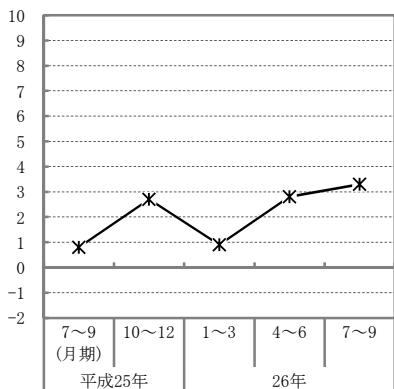


図13 資金繰り状況DIの推移
一製造業一

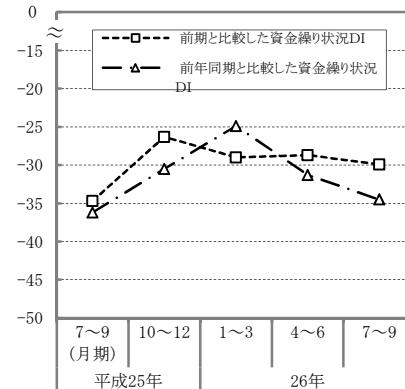
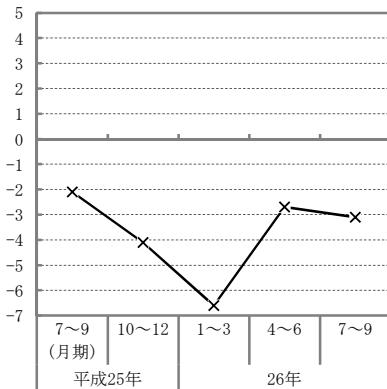


図14 雇用状況DIの推移
一製造業一



3 卸売業, 小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期(平成26年7~9月期)の業況判断DIは(-71.5)で、前期(平成26年4~6月期)(-67.2)に比べ、4.3ポイント悪化した。

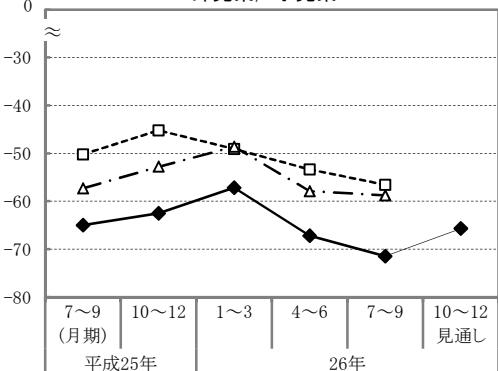
イ 前期と比較した業況判断DIは(-56.6)で、前期(-53.4)に比べ、3.2ポイント悪化した。

ウ 前年同期(平成25年7~9月期)と比較した業況判断DIは(-58.8)で、前期(-57.9)に比べ、0.9ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期(平成26年10~12月期)の業況見通しDIは(-65.7)で、今期の業況判断(-71.5)に比べ、5.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移
一卸売業, 小売業一



● 今期の業況判断DI及び来期の業況見通しDI
---□--- 前期と比較した業況判断DI

(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

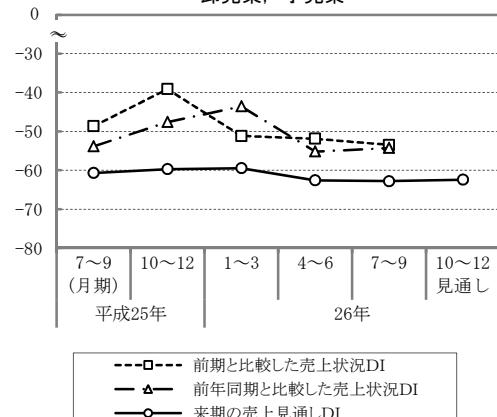
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)53.5で、前期(-51.9)に比べ、1.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)54.3で、前期(-55.2)に比べ、0.9ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)62.4で、前期における今期の売上見通し(-62.8)に比べ、0.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

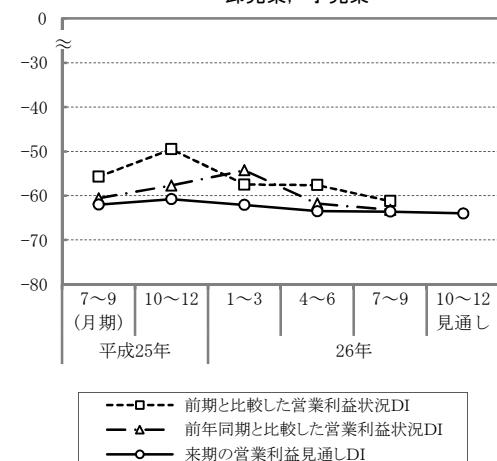
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)61.2で、前期(-57.6)に比べ、3.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)63.2で、前期(-61.8)に比べ、1.4ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)64.0で、前期における今期の営業利益見通し(-63.6)に比べ、0.4ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)8.3で、前期(+4.9)に比べ、3.4ポイント「過剰」が拡大した。

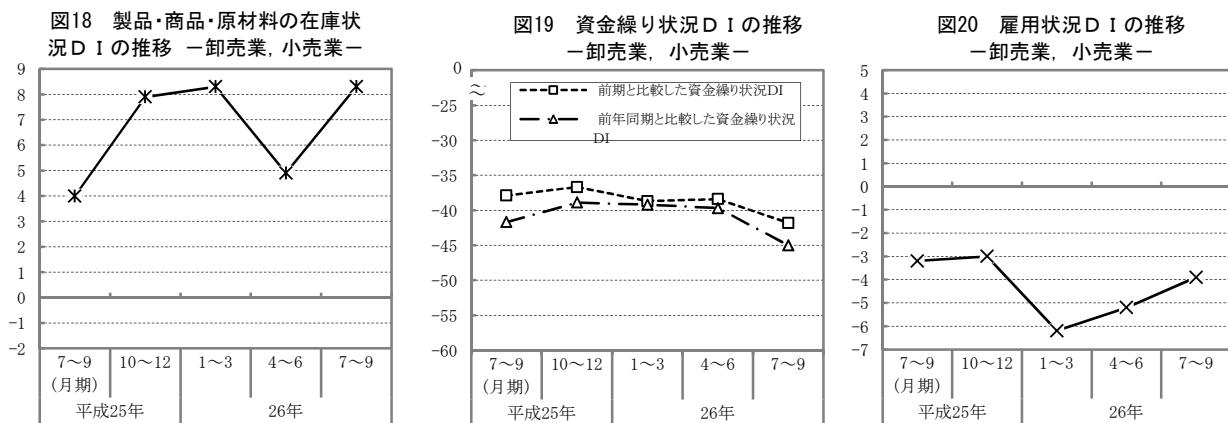
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)41.8で、前期(-38.4)に比べ、3.4ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)45.0で、前期(-39.7)に比べ、5.3ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)3.9で、前期(-5.2)に比べ、1.3ポイント「不足」が縮小した。



4 宿泊業, 飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

- ア 今期（平成26年7～9月期）の業況判断 D I は（-）58.1 で、前期（平成26年4～6月期）（-59.1）に比べ、1.0 ポイント改善した。
- イ 前期と比較した業況判断 D I は（-）46.1 で、前期（-41.0）に比べ、5.1 ポイント悪化した。
- ウ 前年同期（平成25年7～9月期）と比較した業況判断 D I は（-）50.3 で、前期（-43.6）に比べ、6.7 ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年10～12月期）の業況見通し D I は（-）58.0 で、今期の業況判断（-58.1）に比べ、0.1 ポイントの改善の見通しとなっている。

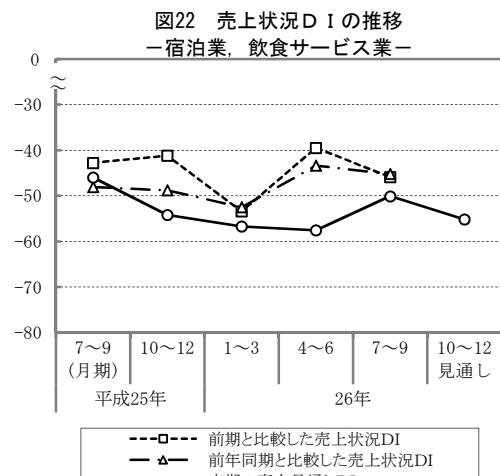
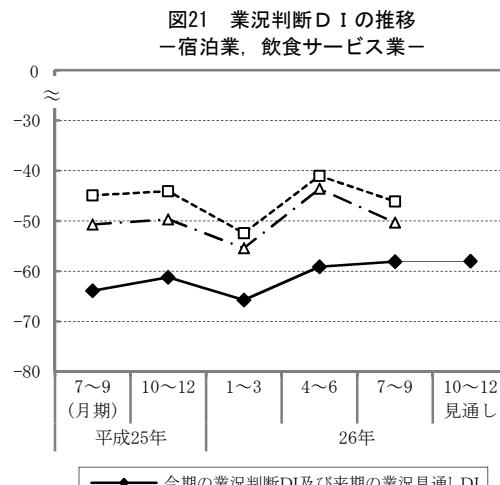
(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

- ア 前期と比較した売上状況 D I は（-）45.9 で、前期（-39.5）に比べ、6.4 ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した売上状況 D I は（-）45.2 で、前期（-43.4）に比べ、1.8 ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通し D I は（-）55.2 で、前期における今期の売上見通し（-50.1）に比べ、5.1 ポイントの悪化の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

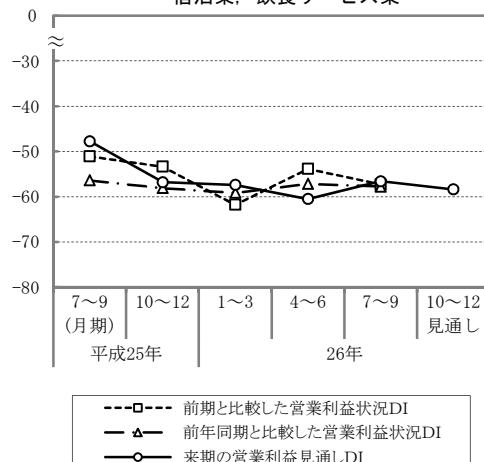
① 今期の営業利益の状況

- ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)57.3で、前期(-53.9)に比べ、3.4ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)57.8で、前期(-57.2)に比べ、0.6ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)58.4で、前期における今期の営業利益見通し(-56.6)に比べ、1.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
-宿泊業、飲食サービス業-



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)1.5で、前期(+1.9)に比べ、0.4ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

- ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)41.0で、前期(-37.5)に比べ、3.5ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)42.4で、前期(-40.4)に比べ、2.0ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)7.9で、前期(-5.5)に比べ、2.4ポイント「不足」が拡大した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
-宿泊業、飲食サービス業-

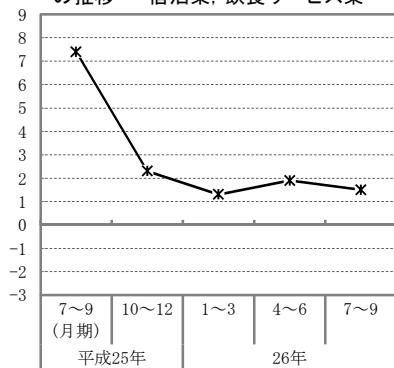


図25 資金繰り状況DIの推移
-宿泊業、飲食サービス業-

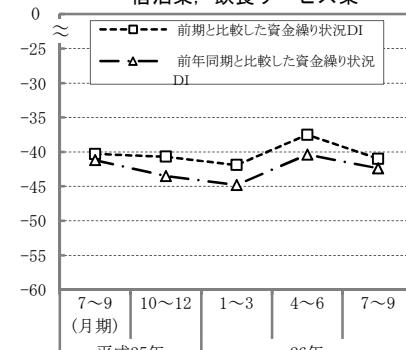
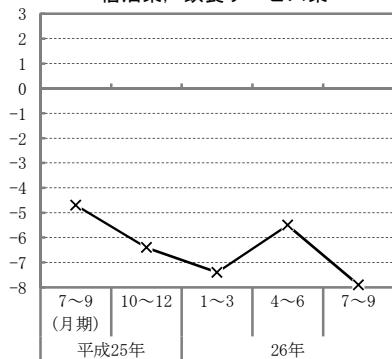


図26 雇用状況DIの推移
-宿泊業、飲食サービス業-



5 サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

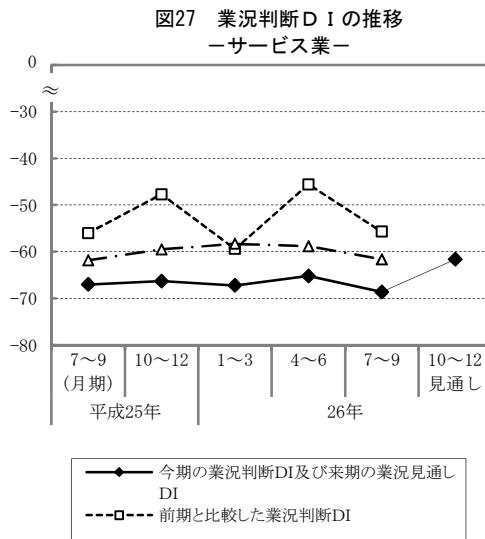
ア 今期（平成26年7～9月期）の業況判断DIは（-）68.6で、前期（平成26年4～6月期）（-65.2）に比べ、3.4ポイント悪化した。

イ 前期と比較した業況判断DIは（-）55.7で、前期（-45.6）に比べ、10.1ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成25年7～9月期）と比較した業況判断DIは（-）61.6で、前期（-58.8）に比べ、2.8ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年10～12月期）の業況見通しDIは（-）61.6で、今期の業況判断（-68.6）に比べ、7.0ポイントの改善の見通しとなっている。



(2) 売上の状況

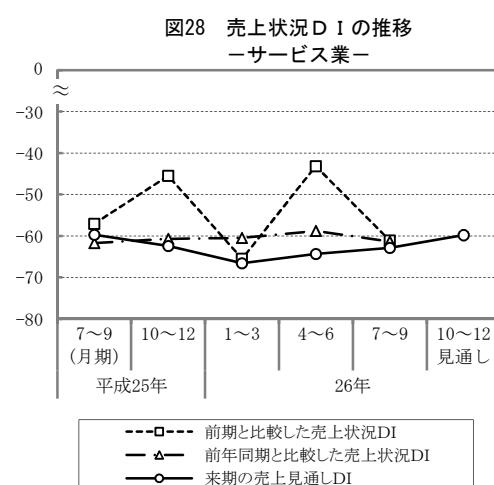
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは（-）61.1で、前期（-43.2）に比べ、17.9ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは（-）61.3で、前期（-58.8）に比べ、2.5ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは（-）59.8で、前期における今期の売上見通し（-62.9）に比べ、3.1ポイントの改善の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

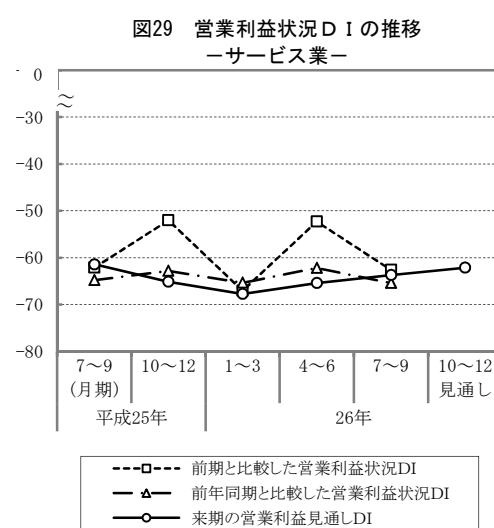
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは（-）62.6で、前期（-52.3）に比べ、10.3ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは（-）65.4で、前期（-62.2）に比べ、3.2ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは（-）62.1で、前期における今期の営業利益見通し（-63.7）に比べ、1.6ポイントの改善の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+3.8)で、前期(+3.9)に比べ、0.1ポイント「過剰」が縮小した。

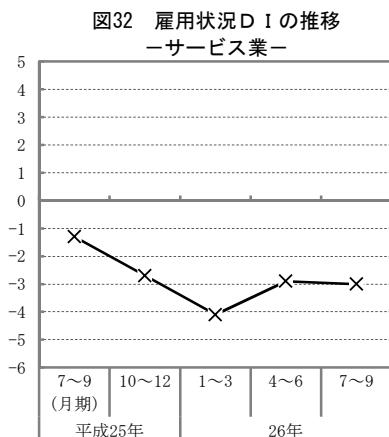
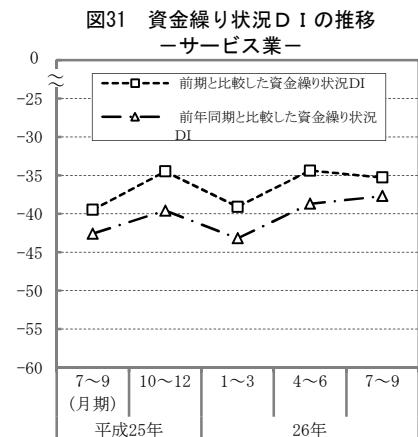
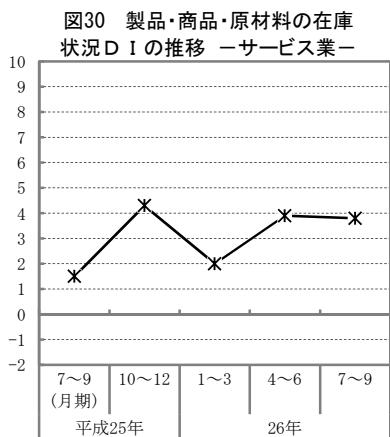
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-35.3)で、前期(-34.4)に比べ、0.9ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-37.7)で、前期(-38.7)に比べ、1.0ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-3.0)で、前期(-2.9)に比べ、0.1ポイント「不足」が拡大した。



III 営業収支

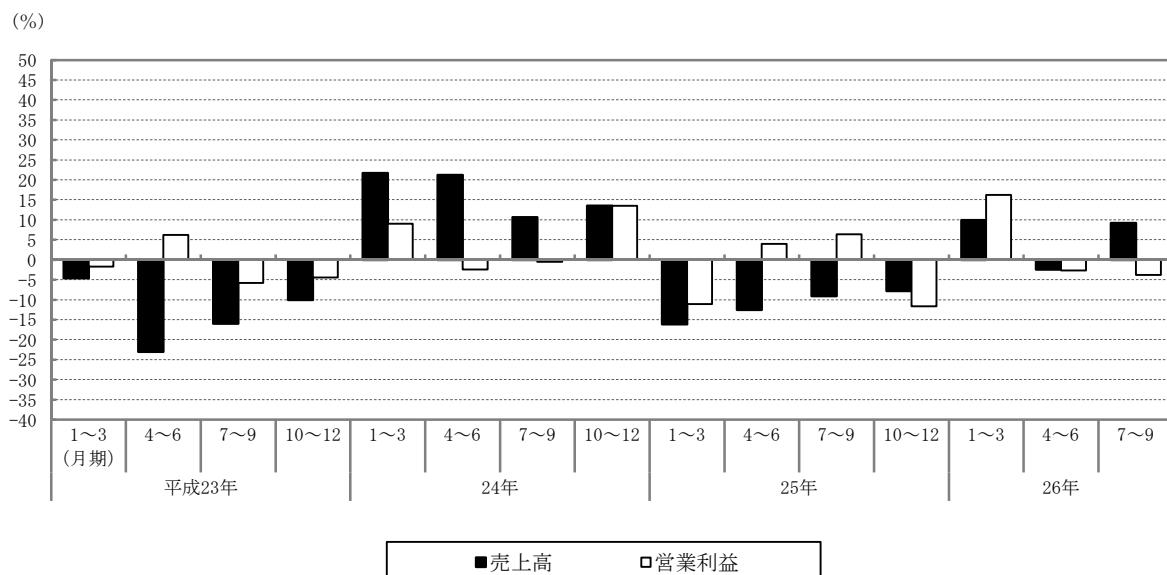
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は231万4000円で、これに対する費用は売上原価が83万3000円、営業費が85万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は62万6000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+9.2%)で、2期ぶりに増加した。また、営業利益は(-3.8%)で、2期連続で減少した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー製造業ー

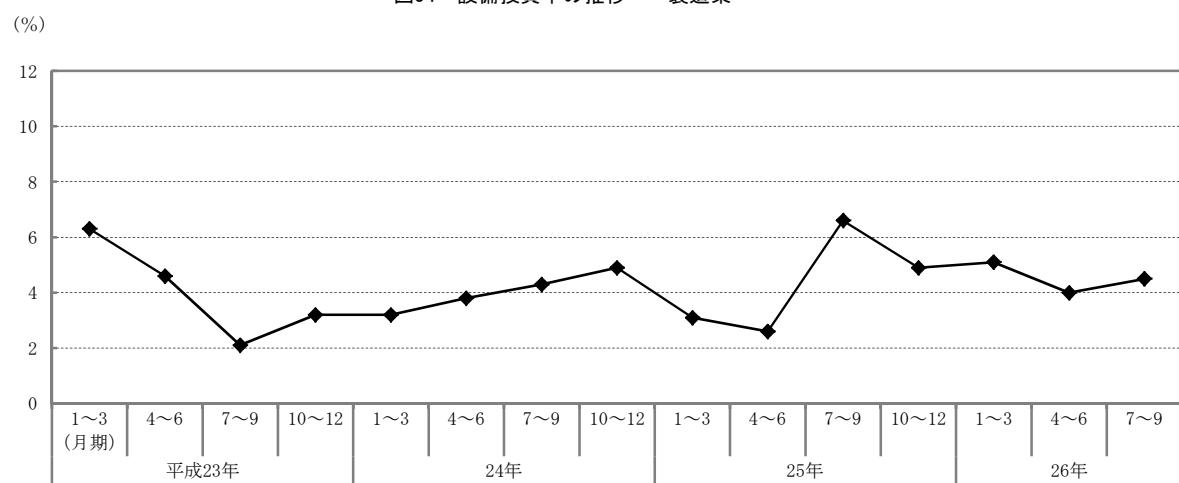


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は10万4000円で、前年同期(13万9000円)を下回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は4.5%で、前年同期(6.6%)を2.1ポイント下回った。

図34 設備投資率の推移 ー製造業ー

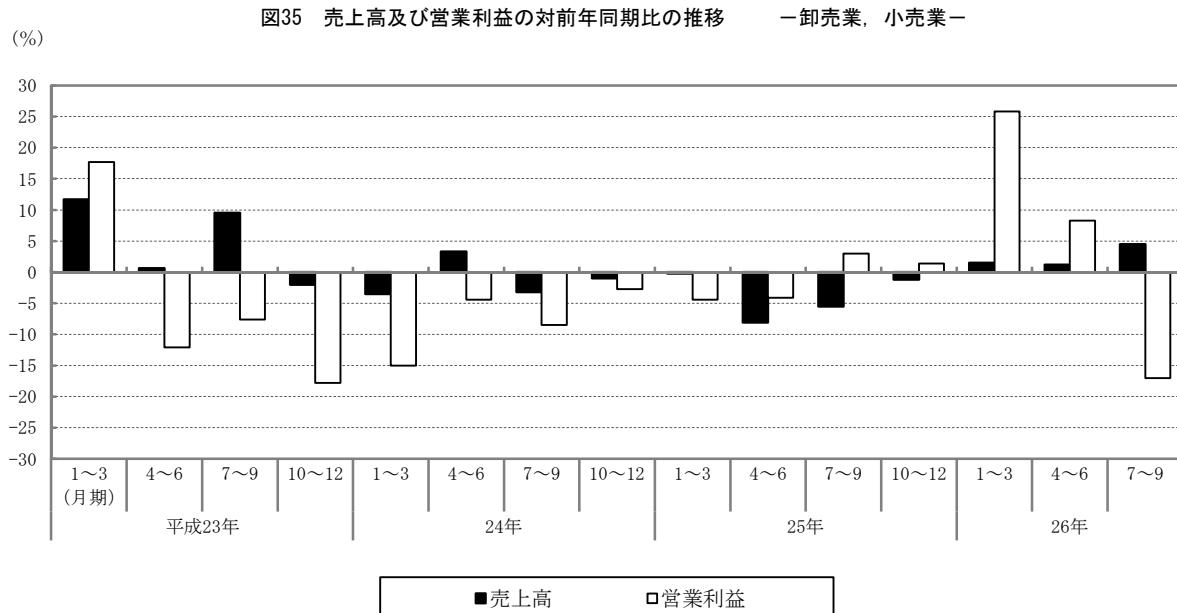


2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

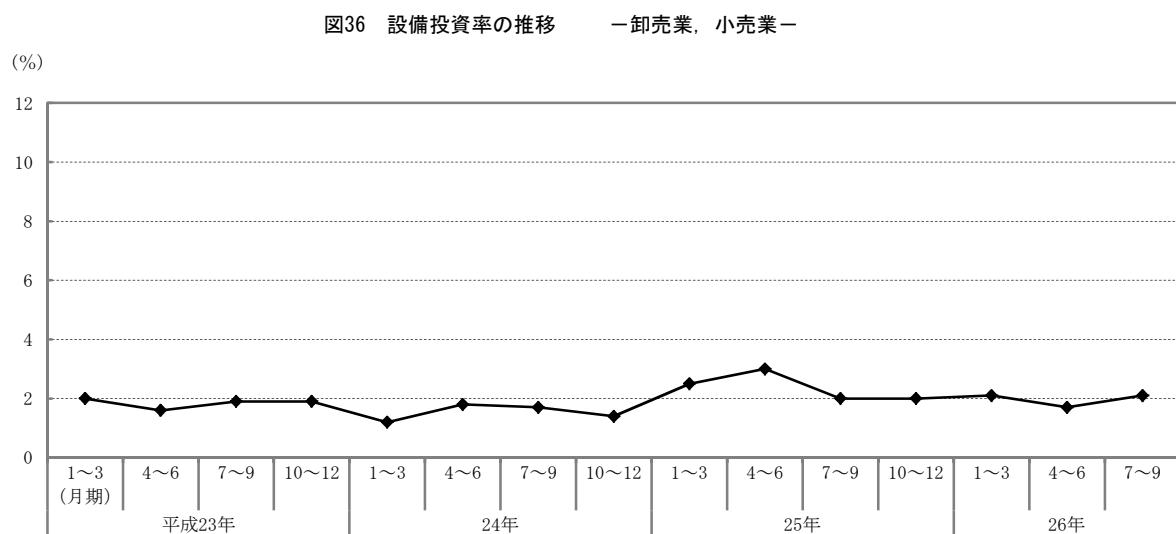
今期の1事業所当たりの売上高は414万6000円で、これに対する費用は売上原価が288万5000円、営業費が89万1000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は37万円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+4.5%)で、3期連続で増加した。また、営業利益は(-17.0%)で、5期ぶりに減少した。



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は8万5000円で、前年同期(8万1000円)を上回った。また、設備投資率は2.1%で、前年同期(2.0%)を0.1ポイント上回った。



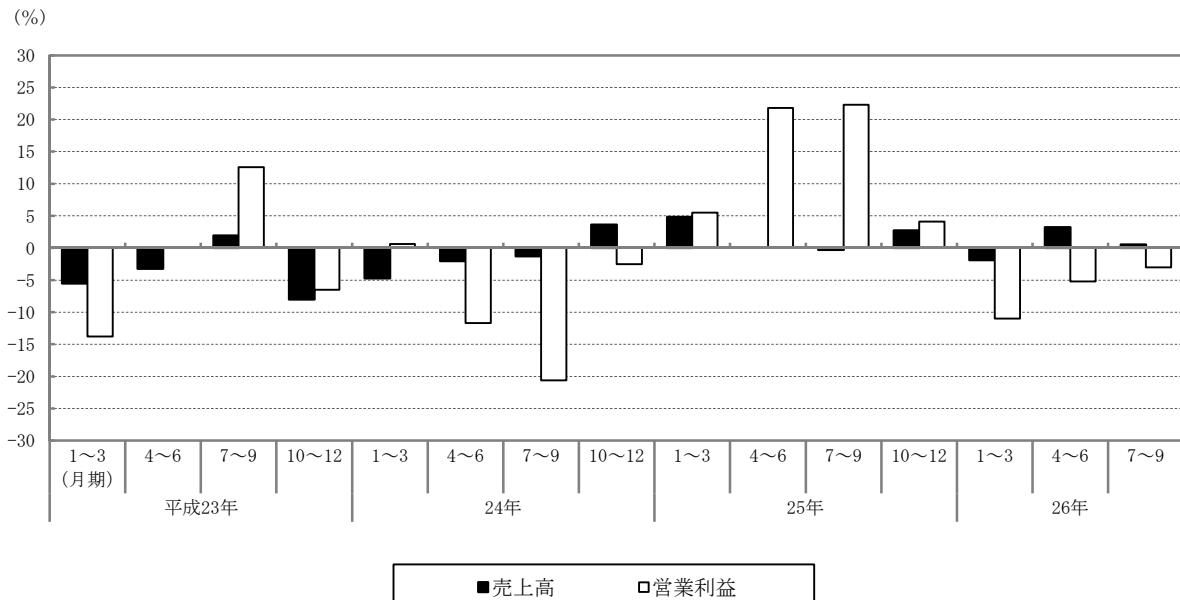
3 宿泊業, 飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は 216万8000円 で、これに対する費用は売上原価が 89万7000円、営業費が 85万円 となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は 42万円 となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+0.5%)で、2期連続で増加した。また、営業利益は(-3.0%)で、3期連続で減少した。

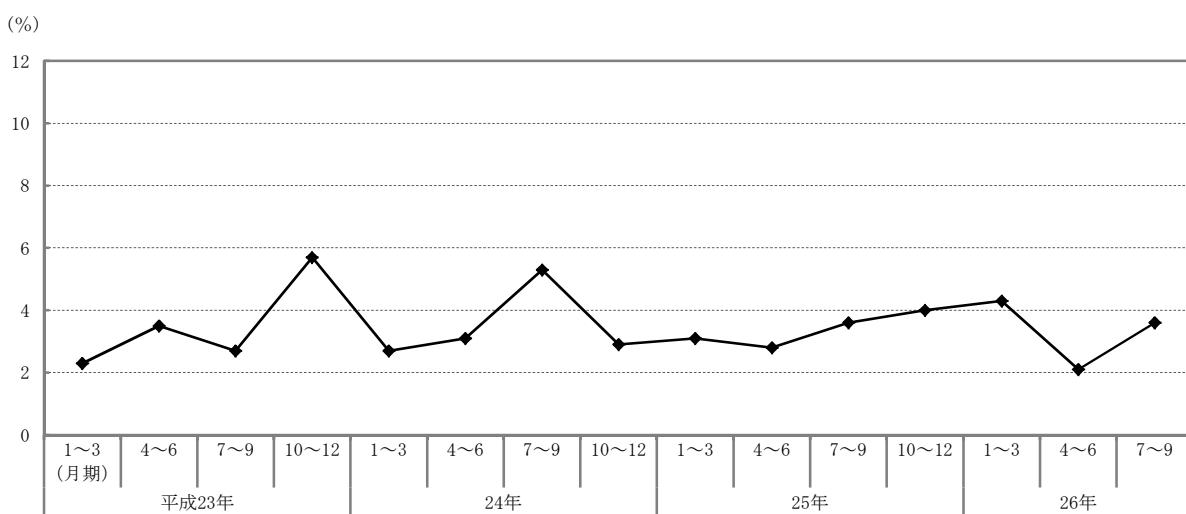
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 一宿泊業、飲食サービス業



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は7万7000円で、前年同期(7万8000円)を下回った。また、設備投資率は3.6%で、前年同期(3.6%)と同率となった。

図38 設備投資率の推移 一宿泊業、飲食サービス業-



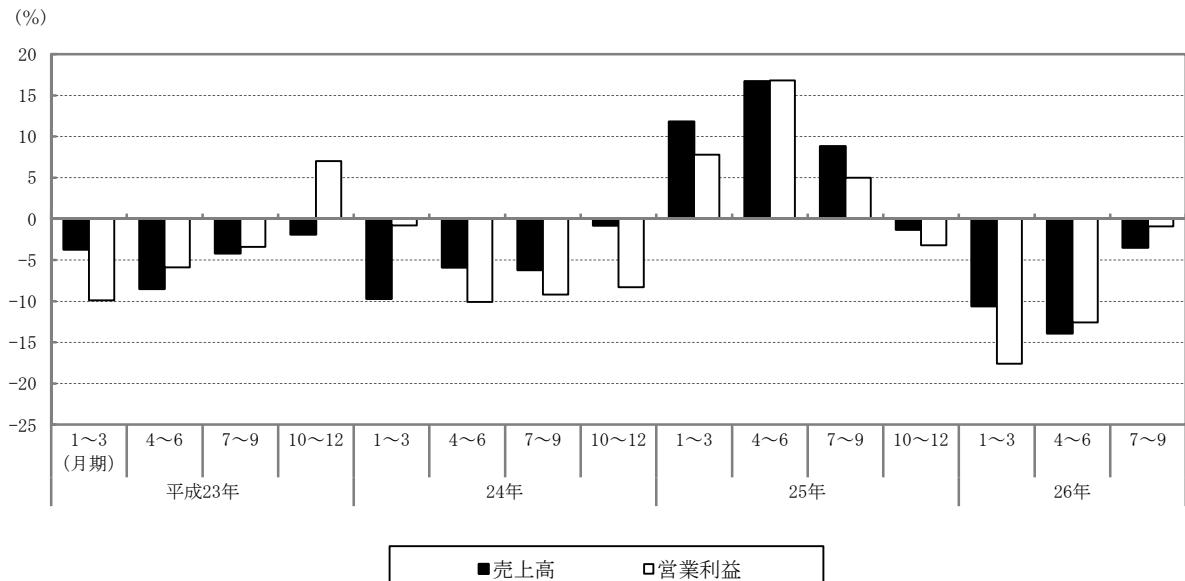
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は 123万円 で、これに対する費用は売上原価が 20万4000円、営業費が 59万3000円 となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は 43万3000円 となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-3.5%)で、4期連続で減少した。また、営業利益は(-0.9%)で、4期連続で減少した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ーサービス業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は4万円で、前年同期(4万5000円)を下回った。また、設備投資率は3.3%で、前年同期(3.5%)を0.2ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 ーサービス業ー

